

スクールインターンシップ 体験レポート

文学部 文化史学科 3 回生

1、はじめに

私は、2021 年度スクールインターンシップを科目登録し、9 月 6 日から 9 月 17 日の二週間、京田辺市立田辺中学校で研修しました。このレポートではその経験を記していきたいと思います。

2、応募した理由

私は、大学入学時から教員になることを目指し、一年生の頃から教職の授業を履修してきましたが、そこで学んだことが、私がこれまで受けてきた中高の教育とは全く違ったため、自分がそれまで育った環境とは違う学校で、授業を始めとした教師としての様々なことを学ぶことで、授業方法や教師の 1 日などにおける偏った概念を払拭する必要があると思い、参加しました。また、4 回生には教育実習が控えています。教育実習はじめてのことに慌てることなく、余裕を持って様々なことを学び、さらに授業をすることに専念できるように、このインターンシップで教師としての仕事の基本的な流れや、良い授業とは何かなどを事前に学んでおきたいと思ったことも応募の理由です。

3、研修内容

私はこのインターンシップで、自分が履修している社会科をはじめとした多くの教科の授業見学、朝の挨拶や清掃・下校指導、生徒の課題のチェックやコメント、朝学活、秋学活、そして 10 分だけではありませんでしたが、授業実践もさせてもらいました。

4、コロナ禍での研修

コロナ禍であるということで、学校行事が中止されることもありましたが、その分授業見学に時間をかけることができ、さらに、不測の事態が起きた時に先生がどう対応しているか、先生方の授業や生徒の接し方、テストなど連携しながら相談したり工夫する様子を見ることができました。

5、研修を振り返って

研修を通して、自分の今までの経験や常識が全てではないという教員として授業をする上で大事なことを学ぶことができました。また、実際毎日授業をされている先生方の授業を見学させていただくことで、大学で学んだ模範的な授業スタイルが具体化され、それぞれの先生の授業の良いところをもとに自分のやりたい授業、そして、教育実習に向けての課題を見つけることができました。

6、さいごに

私にとってインターンシップは自分の教職への気持ちや授業に対する不安などを整理し、新たな発見や、これからの課題などを見つける良いきっかけになりました。今教職に関して不安や悩みを抱えているのであれば、その答えをインターンシップを通して見つけられると思います。また、学びたいという気持ちを持ち、向上心を持って研修に挑めば、授業以外の相談にのって下さったり、先生の方からアドバイスをくださることもあり、自分の期待以上の学びがあるので、教職に興味を持っている人はぜひ参加してみたいです。きっと今より一歩前に進めると思います。皆さんのチャレンジを応援しています。